

I. 建設事業の目的体系

1 事業名	兵庫小学校建設事業				コード	01	10	02	01	02
2 担当部課	教育部				学校教育課					
3 上位の政策・施策 (目的体系の確認)	大項目	II	次代を担う子どもたちの生きる力を育		中項目	1	教育環境を充実し、家庭や地域との連			
	小項目	3	(3) 学校教育環境の整備・充実							

II. (Do)建設事業の内容

1 誰のために(受益者)	兵庫小学校学区の児童			
2 働きかける相手(対象)	SPC (PFI契約会社)			
3 どのような状態にしたいのか(意図)	小学校校舎、体育館、プール、児童館他を建設します。			
4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	工事・路線名	兵庫小学校施設整備事業		
	工事期間	平成 16 年度～平成 33 年度	平成 年度～平成 年度	平成 年度～平成 年度
	全体工事概要	SPCが小学校校舎、体育館、プール、児童館等を建設しました。		
	評価年度の実施内容	校舎9,271㎡、屋内運動場1,143㎡、屋外水泳プール、児童館463㎡の購入		
	予定全体事業量 [A]	10,877.00 ㎡		
	評価年度までの事業量 [Σ a]	10,877.00 ㎡		
	事業量の進捗率 [Σ a/A]	100 %	%	%
	予定全体直接事業費 [B]	2,425,887,286 円	円	円
	評価年度までの直接事業費 [Σ b]	2,056,238,271 円	円	円
	事業費の進捗率 [Σ b/B]	84.8 %	%	%
	評価年度の事業量 [a]	0.00 ㎡		
評価年度の直接事業費 [b]	73,707,309 円	円	円	
事業量1単位当たり直接事業費 [b/a]	0 円	円	円	
5 直接事業費計	前年度決算額	73,637,034 円	決算額	73,707,309 円

6 コストの推移	項 目	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
	直接事業費① (②+③+④)	73,637,034	73,707,309	73,780,000
	一般財源②	73,637,034	73,707,309	73,780,000
	起 債 ③	0	0	0
	そ の 他 ④	0	0	0
	概 算 人 件 費 ⑤	165,478	165,349	
	総 合 計 (① + ⑤)	73,802,512	73,872,658	
	町 費 投 入 額 (② + ③ + ⑤)	73,802,512	73,872,658	

Ⅲ. (Check)建設事業の評価

工事・路線名 (1)	兵庫小学校施設整備事業		
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか?	YES <input checked="" type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か?	YES <input checked="" type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等	特にありません。		
3 建設事業評価コメント	特にありません。		

工事・路線名 (2)			
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか?	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か?	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等			
3 建設事業評価コメント			

工事・路線名 (3)			
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか?	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か?	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等			
3 建設事業評価コメント			

Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

改善内容 (課題への対応)	特にありません。
------------------	----------

I. 建設事業の目的体系

1	事業名	公園緑地築造事業				コード	01	08	04	02	02
2	担当部課	経済建設部				都市計画課					
3	上位の政策・施策 (目的体系の確認)	大項目	V	産業が活性化し、快適でいつまでも住	中項目	4	緑豊かなうるおいのあるまちをつくる				
		小項目	1	(1) 公園・緑地の新規整備及び既存公							

II. (Do)建設事業の内容

1	誰のために(受益者)	地域住民及び公園利用者										
2	働きかける相手(対象)	公園施設等										
3	どのような状態にしたいのか(意図)	地区住民の利用に供する身近な公園を整備することで、良好な居住環境の形成を図れる。										
4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	工事・路線名	牛廻間地区計画公園4号(用地取得)									
		工事期間	平成27年度～平成32年度		平成	年度～平成	年度	平成	年度～平成	年度		
		全体工事概要	用地取得 289.55㎡ ・平成27年度取得(土地開発公社) ・公社買戻し(5年償還)									
		評価年度の実施内容	用地取得 57.9㎡ (累計86.9㎡)									
		予定全体事業量 [A]	289.55 ㎡									
		評価年度までの事業量 [Σ a]	86.90 ㎡									
		事業量の進捗率 [Σ a/A]	30 %									%
		予定全体直接事業費 [B]	23,785,164 円									円
		評価年度までの直接事業費 [Σ b]	7,163,374 円									円
		事業費の進捗率 [Σ b/B]	30.1 %									%
		評価年度の事業量 [a]	57.90 ㎡									
評価年度の直接事業費 [b]	4,775,663 円									円		
事業量1単位当たり直接事業費 [b/a]	82,481 円									円		
5	直接事業費計	前年度決算額				2,397,711 円		決算額		4,775,663 円		

6 コストの推移	項 目	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
	直接事業費① (②+③+④)	2,397,711	4,775,663	4,764,000
	一般財源②	2,397,711	4,775,663	4,764,000
	起 債 ③	0	0	0
	そ の 他 ④	0	0	0
	概 算 人 件 費 ⑤	3,981,899	776,988	
	総 合 計 (① + ⑤)	6,379,610	5,552,651	
	町 費 投 入 額 (② + ③ + ⑤)	6,379,610	5,552,651	

Ⅲ. (Check)建設事業の評価

工事・路線名 (1)	牛廻間地区計画公園4号(用地取得)		
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか?	YES <input checked="" type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か?	YES <input checked="" type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等	特にありません。		
3 建設事業評価コメント	価格審査会により決定した価格により、平成27年度に適正に買収手続きが行われました。平成27年度から引き続き、土地開発公社へ償還(5年償還)していきます。		

工事・路線名 (2)			
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか?	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か?	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等			
3 建設事業評価コメント			

工事・路線名 (3)			
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか?	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か?	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等			
3 建設事業評価コメント			

Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

改善内容 (課題への対応)	特にありません。
------------------	----------

I. 建設事業の目的体系

1	事業名	道路新設改良事業				コード	01	08	02	02	01
2	担当部課	経済建設部				建設課					
3	上位の政策・施策 (目的体系の確認)	大項目	V	産業が活性化し、快適でいつまでも住	中項目	6	安心して通行できる道路網を整備する				
		小項目	3	(3) 暮らしやすい道路の形成							

II. (Do)建設事業の内容

1	誰のために(受益者)	道路を利用する人											
2	働きかける相手(対象)	道路											
3	どのような状態にしたいのか(意図)	地域の生活道路を整備することにより、通行車両等の通行の円滑化を図ります。											
4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	工事・路線名	榊池3号線			和合ヶ丘・新池線			歩道改良工事 白鳥・御岳1号線外2				
		工事期間	平成28年度～平成28年度			平成28年度～平成31年度			平成28年度～平成28年度				
		全体工事概要	用地取得 地権者 2名 取得面積 566.23㎡ 公共囑託 2件			工事延長 L=460.0m 北工区 L=280.0m 南工区 L=180.0m 用地取得 地権者 29名 物件移転補償対象 17名			縁石工 L=19.2m L型街渠工 L=33.3m 舗装工 A=72.4㎡				
		評価年度の実施内容	用地取得 地権者 2名 取得面積 566.23㎡ 公共囑託 2件			工事延長(北工区) L=42.0m 用地取得 地権者 14名 物件移転補償対象 3名			縁石工 L=19.2m L型街渠工 L=33.3m 舗装工 A=72.4㎡				
		予定全体事業量 [A]	566.23㎡			460.00m			52.50m				
		評価年度までの事業量 [Σ a]	566.23㎡			0.00m			52.50m				
		事業量の進捗率 [Σ a/A]	100%			0%			100%				
		予定全体直接事業費 [B]	18,530,005円			378,770,146円			2,916,000円				
		評価年度までの直接事業費 [Σ b]	18,530,005円			104,335,284円			2,916,000円				
		事業費の進捗率 [Σ b/B]	100%			27.5%			100%				
		評価年度の事業量 [a]	566.23㎡			0.00m			52.50m				
評価年度の直接事業費 [b]	18,530,005円			104,335,284円			2,916,000円						
事業量1単位当たり直接事業費 [b/a]	32,725円			0円			55,543円						
5	直接事業費計	前年度決算額			18,541,552円			決算額			126,974,591円		

6 コストの推移	項 目	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
	直接事業費① (②+③+④)	18,541,552	126,974,591	367,659,000
	一般財源②	18,541,552	126,974,591	59,062,000
	起 債 ③	0	0	221,600,000
	そ の 他 ④	0	0	86,997,000
	概 算 人 件 費 ⑤	15,065,650	15,860,233	
	総 合 計 (① + ⑤)	33,607,202	142,834,824	
	町 費 投 入 額 (② + ③ + ⑤)	33,607,202	142,834,824	

Ⅲ. (Check)建設事業の評価

工事・路線名 (1)	柵池3号線		
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか?	YES <input checked="" type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か?	YES <input checked="" type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等	特にありません。		
3 建設事業評価コメント	特にありません。		

工事・路線名 (2)	和合ヶ丘・新池線		
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか?	YES <input checked="" type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か?	YES <input checked="" type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等	計画どおりに事業が進捗していますが、買収単価等で地権者と折り合いがつかず、用地買収が難航する箇所があります。		
3 建設事業評価コメント	東郷中央土地区画整理事業に合わせて行っている事業であるため、遅れをとることなく計画的に事業を進めていく必要があります。地元対策委員の協力を得ながら、粘り強く用地交渉を進めていく必要があります。		

工事・路線名 (3)	歩道改良工事		
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか?	YES <input checked="" type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か?	YES <input checked="" type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等	特にありません。		
3 建設事業評価コメント	特にありません。		

Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

改善内容 (課題への対応)	特にありません。
------------------	----------

I. 建設事業の目的体系

1	事業名	道路新設改良事業				コード	01	08	02	02	01
2	担当部課	経済建設部				建設課					
3	上位の政策・施策 (目的体系の確認)	大項目	V	産業が活性化し、快適でいつまでも住	中項目	6	安心して通行できる道路網を整備する				
		小項目	3	(3) 暮らしやすい道路の形成							

II. (Do)建設事業の内容

1	誰のために(受益者)	道路を利用する人										
2	働きかける相手(対象)	道路										
3	どのような状態にしたいのか(意図)	地域の生活道路を整備することにより、通行車両等の通行の円滑化を図ります。										
4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	工事・路線名	清水ヶ根11号線									
		工事期間	平成 28 年度～平成 29 年度	平成	年度～平成	年度	平成	年度～平成	年度			
		全体工事概要	工事延長 L=52.5m 側溝工 L=52.5m 擁壁工 L=16.0m 舗装工 A=177.1㎡ 公共嘱託委託業務 一式									
		評価年度の実施内容	公共嘱託委託業務 一式									
		予定全体事業量 [A]	52.50 m			m					m	
		評価年度までの事業量 [Σ a]	0.00 m			m					m	
		事業量の進捗率 [Σ a/A]	0 %			%					%	
		予定全体直接事業費 [B]	5,498,182 円			円					円	
		評価年度までの直接事業費 [Σ b]	1,193,302 円			円					円	
		事業費の進捗率 [Σ b/B]	21.7 %			%					%	
		評価年度の事業量 [a]	0.00 m			m					m	
評価年度の直接事業費 [b]	1,193,302 円			円					円			
事業量1単位当たり直接事業費 [b/a]	0 円			円					円			
5	直接事業費計	前年度決算額	18,541,552 円			決算額	126,974,591 円					

6 コストの推移	項 目	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
	直接事業費① (②+③+④)	18,541,552	126,974,591	367,659,000
	一般財源②	18,541,552	126,974,591	59,062,000
	起 債 ③	0	0	221,600,000
	そ の 他 ④	0	0	86,997,000
	概 算 人 件 費 ⑤	15,065,650	15,860,233	
	総 合 計 (① + ⑤)	33,607,202	142,834,824	
	町 費 投 入 額 (② + ③ + ⑤)	33,607,202	142,834,824	

Ⅲ. (Check)建設事業の評価

工事・路線名 (1)	清水ヶ根11号線		
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか?	YES <input checked="" type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か?	YES <input checked="" type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等	特にありません。		
3 建設事業評価コメント	特にありません。		

工事・路線名 (2)			
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか?	YES <input checked="" type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か?	YES <input checked="" type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等			
3 建設事業評価コメント			

工事・路線名 (3)			
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか?	YES <input checked="" type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か?	YES <input checked="" type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等			
3 建設事業評価コメント			

Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

改善内容 (課題への対応)	特にありません。
------------------	----------

I. 建設事業の目的体系

1	事業名	河川整備事業				コード	01	08	03	01	02
2	担当部課	経済建設部				建設課					
3	上位の政策・施策 (目的体系の確認)	大項目	V	産業が活性化し、快適でいつまでも住	中項目	6	安心して通行できる道路網を整備する				
		小項目	3	(3) 暮らしやすい道路の形成							

II. (Do)建設事業の内容

1	誰のために(受益者)	歩行者						
2	働きかける相手(対象)	歩道						
3	どのような状態にしたいのか(意図)	安全な歩行者空間を確保します。						
4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	工事・路線名	春木川ウォーキングロード		調整池築造工事			
		工事期間	平成 22 年度～平成 31 年度		平成 28 年度～平成 30 年度		平成 年度～平成 年度	
		全体工事概要	工事延長 L=1,225m 舗装工 A=1,977㎡ 車止め設置工 N=31か所 転落防止柵設置工L=105m 照明灯設置工 N=6基 案内板設置工 N=4か所		調整池面積 A=2,382㎡ 用地取得 地権者 4名 取得面積 2,382㎡			
		評価年度の実施内容	平成28年度の実績はありません。		詳細設計委託業務 一式			
		予定全体事業量 [A]	1,225.00 m		0.00 ㎡			
		評価年度までの事業量 [Σ a]	970.00 m		0.00 ㎡			
		事業量の進捗率 [Σ a/A]	79.2 %		0 %		%	
		予定全体直接事業費 [B]	32,183,750 円		152,668,235 円		円	
		評価年度までの直接事業費 [Σ b]	16,178,790 円		3,218,400 円		円	
		事業費の進捗率 [Σ b/B]	50.3 %		2.1 %		%	
評価年度の事業量 [a]	0.00 m		0.00 ㎡					
評価年度の直接事業費 [b]	0 円		3,218,400 円		円			
事業量1単位当たり直接事業費 [b/a]	0 円		0 円		円			
5	直接事業費計	前年度決算額		8,330,040 円		決算額	3,218,400 円	

6 コストの推移	項 目	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
	直接事業費① (②+③+④)	8,330,040	3,218,400	43,382,000
	一般財源②	8,330,040	3,218,400	43,382,000
	起 債 ③	0	0	0
	そ の 他 ④	0	0	0
	概 算 人 件 費 ⑤	3,257,438	0	
	総 合 計 (① + ⑤)	11,587,478	3,218,400	
	町 費 投 入 額 (② + ③ + ⑤)	11,587,478	3,218,400	

Ⅲ. (Check)建設事業の評価

工事・路線名 (1)	春木川ウォーキングロード		
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか？	YES <input checked="" type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	YES <input checked="" type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等	東郷中央土地区画整理事業の進捗状況を把握し、事業実施内容等を検討する必要があります。		
3 建設事業評価コメント	河川の親しみやすさを進める必要があります。		

工事・路線名 (2)	調整池築造工事		
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか？	YES <input checked="" type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	YES <input checked="" type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等	特にありません。		
3 建設事業評価コメント	特にありません。		

工事・路線名 (3)			
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか？	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等			
3 建設事業評価コメント			

Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

改善内容 (課題への対応)	東郷中央土地区画整理事業の進捗状況を把握し、事業の進展に努めます。
------------------	-----------------------------------

I. 建設事業の目的体系

1	事業名	公共下水道建設事業				コード	09	02	02	02	01
2	担当部課	経済建設部				下水道課					
3	上位の政策・施策 (目的体系の確認)	大項目	V	産業が活性化し、快適でいつまでも住	中項目	8	安定した水道の供給と下水の的確な処				
		小項目	2	(2) 市街化区域の下水道整備							

II. (Do)建設事業の内容

1	誰のために(受益者)	下水道認可区域内の地権者及び町民									
2	働きかける相手(対象)	下水道認可区域内の受益地									
3	どのような状態にしたいのか(意図)	公共用水域の水質を改善することにより、町民生活の環境衛生の向上を図ります。									
4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	工事・路線名	建設事業								
		工事期間	平成 1 年度～平成 30 年度	平成	年度～平成	年度	平成	年度～平成	年度		
		全体工事概要	事業認可取得区域・市街化区域559haの公共下水道の整備								
		評価年度の実施内容	整備面積 0.0ha 整備延長 0.04km 接続件数 240件								
		予定全体事業量 [A]	559.00 ha								
		評価年度までの事業量 [Σ a]	497.50 ha								
		事業量の進捗率 [Σ a/A]	89 %								
		予定全体直接事業費 [B]	19,187,139,590 円								
		評価年度までの直接事業費 [Σ b]	15,814,710,315 円								
		事業費の進捗率 [Σ b/B]	82.4 %								
		評価年度の事業量 [a]	0.00 ha								
評価年度の直接事業費 [b]	126,751,421 円										
事業量1単位当たり直接事業費 [b/a]	0 円										
5	直接事業費計	前年度決算額	166,580,260 円				決算額	126,751,421 円			

6 コストの推移	項 目	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
	直接事業費① (②+③+④)	166,580,260	126,751,421	179,407,000
	一般財源②	53,951,947	40,706,738	61,061,000
	起 債 ③	42,600,000	45,400,000	75,800,000
	そ の 他 ④	70,028,313	40,644,683	42,546,000
	概 算 人 件 費 ⑤	24,100,861	21,529,637	
	総 合 計 (① + ⑤)	190,681,121	148,281,058	
	町 費 投 入 額 (② + ③ + ⑤)	120,652,808	107,636,375	

Ⅲ. (Check)建設事業の評価

工事・路線名 (1)	建設事業	
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか？	YES <input checked="" type="checkbox"/> NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	YES <input checked="" type="checkbox"/> NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等	白土地区の整備を重点的に実施し、事業を進めています。整備後の維持管理費軽減のため、自然流下での整備を目指し、名古屋市及び日進市と協議を進めています。	
3 建設事業評価コメント	公共用水域の水質改善が急務とされているため、DID地区の下水道整備を早急に行う必要があります。下水道事業についてコスト縮減意識を持って実施設計を行い、平成31年度を目途に白土地区の全部について供用開始を行います。	

工事・路線名 (2)		
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか？	YES <input type="checkbox"/> NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	YES <input type="checkbox"/> NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等		
3 建設事業評価コメント		

工事・路線名 (3)		
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか？	YES <input type="checkbox"/> NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	YES <input type="checkbox"/> NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等		
3 建設事業評価コメント		

Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

改善内容 (課題への対応)	社会資本整備総合交付金の縮減に伴い下水道事業費の確保が困難なため、関係機関と協議しつつ、工法及び施工方法等を検討しコスト縮減に努めます。
------------------	--